

DAWN 通信

第19号

2014. 7

★特集

- 【今年度の事業展開】
このような事業を展開 ②
- ピックアップ～ドーンフェスティバル2014～ ④
- ドーンセンター情報 / イコラーム情報 ⑤
- 新運営体制 / 寄附のお願い・賛助会員募集中 ⑥

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる真に豊かな社会の実現に貢献します。

ドーンと未来へ ～20周年記念事業へのお誘い

本年は、財団設立とドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）開館20周年にあたります。これを記念して私たち財団と、財団が代表団体である「ドーン運営共同体」*が11月を中心にドーンセンターの全館をあげて実施する多彩な事業プログラムが出そろいました。

プログラムの柱は、次の通りです。

○9月初旬

財団設立20周年記念誌『ドーンと未来へ』刊行

○10月25日

- ・20周年の報告と講演、パネルディスカッション
「男女共同参画社会を実現するために～公益団体の役割」
- ・財団賛助会員の集い

○11月7～16日 ドーンフェスティバル2014

- ・絵画展「口と足で表現する世界の芸術家たち」
- ・情報ライブラリー特別展示、上映会
- ・登録団体、NPOなど33団体との共催イベント38件（予定）
- ・第18回女性芸術劇場「姉妹たちよ」公演（3回）
- ・ポスター展「女の暦 姉妹たちよ」
- ・東北被災地女性の手仕事物産展

記念事業の目的は、大きく分けて2つです。1つは、これまでに寄せられた多くの皆さまからのご支援に感謝の意を表すこと。いま1つは、20年の歩みを振り返るだけでなく、未来に向かって男女共同参画社会実現の願いを込めたメッセージを広く社会に発信することです。20周年記念誌のタイトルを『ドーンと未来へ』とした思いもここにあります。

各事業の詳しい内容は、チラシ、ホームページなどでお知らせしますので、ふるってご参加ください。

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
理事長 時岡禎一郎

財団ホームページ
<http://www.ogef.jp>

ただいま、情報発信中!!

twitter アカウント

@O_G_E_F

ブログ更新中



<http://ameblo.jp/ogef/>

※財団のホームページはドーンセンターのホームページからお入りいただけます。

*「ドーン運営共同体」

ドーンセンターの指定管理業務（ホール、会議室などの貸し出しと施設管理）を大阪府から受託しています。契約期間は、平成23年度から5年間。構成団体は、当財団と一般財団法人大阪府青少年活動財団、NPO法人大阪現代舞台芸術協会、三菱電機ビルテクノサービス株式会社関西支社の4者です。

受託事業

●大阪府からの受託事業

◎ドーンセンター指定管理業務

- ・会議室貸出 ・施設管理 ・グループ活動支援
- ・一時保育事業の運営 ・視察対応

◎相談事業

- ・女性の悩み電話相談
相談専用電話 06-6937-7800
火～金 17:00～20:00
土・日 10:00～16:00
- ・女性のための面接相談(予約制)
相談事務局 06-6910-8588
火～金 17:00～21:00
土・日 10:00～18:00
- ・カウンセラー派遣
- ・大阪府内市町村における相談員及び相談事業関係者のための事例検討・ネットワーク会議

◎不妊専門相談センター事業

- ・不妊にまつわる電話相談
相談専用電話 06-6910-8655
毎週水曜日 10:00～16:00
(第5週・祝日・年末年始は除く)
第4土曜日 13:00～16:00
(4月、8月、12月は除く)
- ・サポート・グループ 年3回
「子どものいない人生のこと、話し合ってみませんか」他
- ・セミナー「子どものいる未来・いない未来」など
- ・専用HP運営など

◎男女共同参画に関する情報の収集及び提供に関する事業

- ・ドーンセンター情報ライブラリーの運営
開館時間 火～木、土 9:30～17:30
金 9:30～20:00
- ・ドーンセンターHPの運営
- ・メールマガジンの発行
- ・キャリアカウンセラーによる個別就労相談

◎男女共同参画社会の実現に資する人材養成・啓発事業

- ・市町村職員等研修 ・学校教職員向け研修
- ・企業向け研修 ・男性対象講座 ・府民対象講座

●東大阪市からの受託事業(指定管理)

2011年4月より指定管理者としてイコーラム(東大阪市立男女共同参画センター)の管理運営及び事業を担っています。

◎イコーラムの管理運営

- ・施設設備の維持管理 ・施設使用許可業務
- ・印刷サービス、視察対応等

◎イコーラム事業

- ・調査研究・啓発事業 ・情報収集・提供事業
- ・女性のための相談事業 ・男女共同参画推進講座
- ・一時保育事業 ・登録団体支援 ・その他

●内閣府からの受託事業

- ◎「平成26年度 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」
- ◎「平成26年度 女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業」

●三重県伊賀市からの受託事業

- ◎クローバーカレッジⅣ「女性リーダー養成講座」

●大阪府泉大津市からの受託事業

- ◎「男女共同参画セミナー(にんじんカレッジ)」

●大学からの受託事業

- ◎近畿大学総合社会学部「キャリアサポートセミナー」
- ◎大阪女学院大学・短期大学「人権教育講座」他

◎女性に対するキャリア支援事業

- ・「企業での女性活躍推進の取組紹介」など

◎商工労働部雇用推進室委託訓練事業

- ・母子家庭の母等の特性に応じた訓練
(訓練期間 各2ヵ月 2014年6月～2015年3月)

交付金事業

●内閣府からの交付金事業

- ◎「平成26年度 地域女性活躍加速化交付金事業」

このような事業を展開!

自主事業

自主事業の中には基金や助成金によって運営されているものもあります。

●「はなみずき基金」充当事業

府内在住の女性篤志家から当財団にいただいた寄附金で設置した基金を活用します。

- ◎はなみずき会 (4回)
- ◎はなみずき塾 (メンタルヘルス編 2014) (5回)
- ◎はなみずき塾 (自己表現ワークショップ編) (5回)
- ◎シングルマザーのためのはなみずきセミナー (5回)

◎ドーン・シネマクラブ (未定)

◎第18回女性芸術劇場 (11月)

●賛助会費充当事業

賛助会費を活用して事業を実施します。

◎相談カウンセリングに関わる人材育成事業

- ・フェミニストカウンセリング専門講座 (時期未定)
- ・スーパービジョン講座 (年2回/11月・1月実施予定)

◎広報事業

- ・財団ホームページの運営
- ・ニュースレター『DAWN通信』の発行

◎次世代育成事業

- ・インターンシップ・プログラムの実施
- ・新任教員研修の受け入れ
- ・職場体験受け入れ
- ・図書館司書課程実習生受け入れ

* 事業内容・時期等は変更になる場合があります。

●助成金事業

助成金を活用して事業を実施します。

<「ACC」(在日米商工会議所 関西支部) 助成>

- ◎はなみずき会 (4回)
- ◎はなみずき塾 (メンタルヘルス編 2014) (5回)
- ◎はなみずき塾 (自己表現ワークショップ編) (5回)
- ◎シングルマザーのためのはなみずきセミナー (5回)

●その他の事業

◎相談事業

- ・DV被害・性暴力被害に悩む女性のための女性弁護士による法律相談
- ・DV被害者支援のためのサポートグループ

◎情報発信事業

- ・海外女性監督ドキュメンタリー作品の収集・加工・販売
- ・『Women Pioneers- 女性先駆者たち』の販売
- ・ハンドブック、書籍の販売

◎スタディツアー

- ・海外のNGOに学ぶ カナダ編 (9月)
- ・出石永楽館 歌舞伎鑑賞ツアー (11月)

◎講師派遣、委員等応職

●共催事業

◎研究機関、団体、NPOとの共催 他



はなみずきスタディツアー

日井文と行く!

バンクーバーの NGOに学ぶ

2014年9月1日(月)~7日(日)
(カナダ:バンクーバー 7日間)

当財団のネットワークを活かした
オリジナルスタディツアー。

女性リーダーが活躍するソーシャルビジネスから、
ヒントを得る旅です。

2013年9月にアメリカのNGOを訪問するツアーを企画・催行しました。2014年は、バンクーバーで女性を支援しているNGOを訪問し、就労支援体制、女性たちがエンパワメントするさまざまなみやプログラム、地域社会とのネットワークの作り方、ボランティアの力を活かす活動、継続的な組織づくりについて学びます。ツアーの様子は次号で報告します。



ドーンフェスティバル2014

～ドーンセンター設立20周年を祝う催し～

2014年11月7日(金)
～11月9日(日)

1Fロビー 絵画展

2014年11月15日(土)
～11月16日(日)

ドーンフェスティバル2014
・女性芸術劇場

ドーンセンター開館20周年を記念して、参加団体33、催し数38というイベントを開催いたします!!10年ぶりのドーンフェスティバル、運営主体が大阪府からドーン運営共同体に代わるといふ荒波を乗り越えてきました。これもドーンセンターを支えてくださった皆さまのおかげです。フェスティバルでは講演会・発表・ワークショップ・展示などなど、日頃ご利用いただいている団体やドーンセンターの設立趣旨に賛同する団体の活動をご覧ください。

そして、一緒にご参加ください。男女共同参画社会の実現と健全な青少年の育成に向かって、明るい未来のために。必ずドーン〈夜明け〉はくる!!ドーンに来る!!!

事業報告

●平成25年度 内閣府「女性に対する暴力被害者支援のための 官官・官民連携ワークショップ事業」

全国の配偶者暴力相談支援センター(以下、「支援センター」という。)における相談件数は、支援センターの運用が開始された平成14年度から年々増加しています。こうした状況から、内閣府では、第3次男女共同参画基本計画におきまして、配偶者暴力防止法により設置の努力義務が規定されている市のセンターについて、平成27年までに100か所にするを成果目標としています。

この目標達成のため、内閣府主催の当事業では、全国の支援センター長や今後支援センターの設置を検討している市区町村の行政担当者、また、支援センター及び連携先である民間支援団体の相談員を対象とした計5回のワークショップを開催しました。また、支援センター設置を検討している2市に対し、具体的な助言をしていただくアドバイザーを派遣しました。

さらに、今後、全国各地で支援センターの設置を検討している市町村の参考にしていただくため、ヒアリング等により収集した10市府県の支援センターにおける先駆的な取組事例を報告書としてまとめました。(木下みゆき)

●平成25年度 厚生労働省「ポジティブ・アクション展開事業」

この事業は、当財団が企画提案プロポーザルによって厚生労働省から受託した事業です。事業の目的は、女性社員が企業内で将来のキャリアプランを描きつつ、就業を継続していけるような環境づくりを促進するため、メンター(後輩から相談を受け、その問題の解消に向けてサポートする人物)制度の導入やロールモデルの育成を目指し、女性が将来のビジョンを描けるための支援を行うことです。

まずは、東大阪市や大阪市など地域の中小企業の経営者層に呼び掛け、勤務する概ね勤続6～15年の中堅女性社員18名のネットワークを構築しました。その方々を対象に年3回の「定例勉強会」を始めとして、「メンター育成研修」への参加、企業の人事労務担当者を対象とした「公開勉強会」等を開催しました。

この事業をきっかけに、中小企業でも取り組める、中小企業だからこそできるポジティブ・アクション推進に今後も取り組みたいと考えております。(木下みゆき)

他にも、内閣府男女共同参画局より「性犯罪被害者支援に関する地方公共団体の男女共同参画部門における地域連携のあり方に関する調査研究」「性犯罪被害者支援体制整備促進事業」「平成25年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」を受託しました。

男女共同参画【性科学に関するデータベース】開設のお知らせ

ドーンセンター情報ライブラリーは、性科学、セクソロジー、ジェンダーの分野の研究者である京都市在住の木下栄造さんから寄贈された約600冊の研究資料を所蔵しています。

これらの研究資料は日本語に翻訳された性科学関連資料がほとんどない中、何度も渡米して収集されたもので、全国いづれの図書館にも所属されていない貴重な図書もたくさん含まれています。

このたび、木下さんが40数年かけて構築した性科学に関する世界最大規模のデータベースを完成されました。そして、「木下栄造研究資料コーナー」を有する当情報ライブラリーでは専用パソコンを設置して一般にご利用いただける運びとなりました。

当該分野の研究者や学生のみなさんはもちろんのこと、行政やマスコミ関係の方々にとりましても、貴重な情報源です。みなさまのご利用、ご活用をお待ちしております。

【データベースの概要】

含まれる国と地域：124

データ数：1万550件

採集に要した年月：41年（1972～2013）

分野：[司法][政治][行政][犯罪][セクハラ][売・買春][男女][男性][女性][こども][ホモ・性転換・性同一性障害][結婚][宗教][医学][エイズ][ひと][データ][性表現][トピックス]

言語：英語又は日本語

形態：「見出し」で検索し、「カード」で閲覧する。

【データベース構築者の略歴】

氏名：木下栄造（兵庫医科大学名誉教授）

学歴：京都大学文学部英文科卒

米国ブリガム・ヤング大学大学院修了

業績：『エイズのセクソロジー』（1994年、自由国民社）

『結婚の科学』（2002年、文春新書）

（性科学以外の著作は省く）

その他：1988年 WHO(国連世界保健機構)創立40周年に当たり、保健広報活動に貢献があったとしてWHOから表彰を受けた。

2007年 ドーンセンターに性科学・ジェンダーに関する専門書を多数寄贈し、大阪府知事から感謝状を贈られた。



木下栄造さん

イコーラム情報

東大阪市からの受託事業（指定管理）

2011年4月より3年間、指定管理者として東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムの管理運営と事業を行ってまいりましたが、引き続き今年度2014年4月から5年間にわたり、指定管理者として管理運営と男女共同参画推進事業を担っていくことになりました。

◎管理運営

施設設備の維持管理、施設使用許可業務、印刷サービス、視察対応、苦情対応 等

◎男女共同参画推進

調査研究・啓発、情報収集・提供、相談、講座開催、市民活動支援、一時保育、その他



男女共同参画週間記念のつどいを開催しました

平成26年6月28日(土)午後1時30分～4時

当財団が指定管理者として管理運営を行っている東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムでは、平成26年6月28日(土)午後1時30分～4時まで、「男女共同参画週間 記念のつどい」を開催し、市民193人が参加しました。

この催しは、国が定める「男女共同参画週間」（6月23日～29日）にちなみ、東大阪市民に男女共同参画とその拠点施設であるイコーラムについて広く知っていただくために、毎年開催しているものです。

今年度は、「ひとりひとりが幸せな社会～明るく希望ある未来へ～」をテーマに、東大阪市民に広く募集した「男女共同参画社会に向けて ひとことメッセージ」の入選作品の紹介、大阪商業大学吹奏楽部のオープニング演奏、そして「笑いで理解(わかり)あう女(ひと)と男(ひと)」と題した落語家の桂文喬さんによる講演と落語がありました。

また、ギャラリーでは、6月21日(土)～7月5日(土)まで、「ひとことメッセージ」全入選作品のパネル、および啓発パネル「湖夢(こゆめ) ニュータウン」も展示し、多くの市民の方々に見ていただきました。

新運営体制

【評議員】	尼川 洋子	人と情報を結ぶWEプロデュース代表
	上田 理恵子	株式会社マザーネット代表取締役
	熊 和子	元毎日放送ラジオ局長
	高田 昌代	神戸市看護大学教授
	早瀬 昇	特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事 社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事
【理事長】	松尾 園子	弁護士
	時岡 禎一郎	学校法人大阪女学院監事
【業務執行理事】	白井 文	グンゼ株式会社取締役
【理事】	伊田 久美子	大阪府立大学人間社会学研究科教授・地域連携研究機構女性学研究センター長
	金光 哲司	大阪府男女共同参画推進財団事務局長
	川中 大輔	シチズンシップ共育企画代表
	段林 和江	弁護士
	仁科あゆ美	大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター
【監事】	畑 律江	毎日新聞大阪本社学芸部専門編集委員
	田上 時子	特定非営利活動法人女性と子どものエンパワメント関西理事長
	林 紀美代	公認会計士

(平成26年6月18日現在、50音順)

寄附のお願い・賛助会員募集中!

～頑張る女性たちを応援する事業にご支援をおねがいします。～

大阪府内の女性から「すべての女性が主体的に自分の人生を選択し、納得の人生を実現できる社会を作るために志(支)援金として活用いただきたい」と財団に贈られた寄附金をもとに2008年8月、女性が好きな花木の名にちなんで「はなみずき基金」を設けました。基金は2012年まで5年間続き、主に、女性である故の生きづらさの解決のために頑張っている女性たちを支援する事業に活用してまいりました。

寄附いただいた女性の志を未来へとつないでいくために、女性の了解を得て基金を継続し、広く個人、団体、企業の皆様に寄附をお願いしております。

〈はなみずき基金充当事業〉

- 東日本大震災被災者支援
- 女性のための相談(電話・面接)
- DV・性暴力被害に悩む女性のための法律相談
- DV被害者のためのサポートグループ
- 相談員育成研修事業(女性のための相談)

【受付中の寄附金】

事業の使途指定寄附金を受け付けています。

- 東日本大震災被災者支援事業
- 女性のための相談事業
- DV・性暴力被害者に悩む女性のための法律相談事業
- 働く女性のためのキャリア形成支援事業
- DV被害者のためのサポートグループ事業
- 相談員育成研修(女性のための相談)
- 就職困難な女性のための就労支援事業
- 文化表現事業
- 使途指定なし

【賛助会員募集中!】

当財団の活動主旨に賛同し、ともに歩んでくださる皆さまの入会をお待ちしています。いただいた賛助会費は広報事業をはじめ、相談関係事業、人材育成事業などに活用させていただきます。

〈年会費〉	個人会員	1口	3,000円
	非営利団体	1口	5,000円
	企業・団体会員	1口	10,000円

※平成26年度から、クレジットカードで年会費がお支払いいただけるようになりました。(個人会員のみ)

※昨年度の賛助会員の方をHPでご紹介しています。

～昨年度の賛助会費は次のように使わせていただきました～

平成25年度 賛助会費収支計算書

H26.3.31

賛助会費			口数	収入額		
個人会員	1口 3,000円	97人	140	420,000		
企業会員	1口10,000円	6企業	15	150,000		
非営利団体会員	1口 5,000円	22団体	24	120,000		
合計			179	690,000		
充当事業			回数	事業収入	支出額 (人件費除く)	賛助会費 個別充当額
充当事業	相談事業(DV・法律相談他)			0	217,566	217,536
	フェミニストカウンセリング講座			466,000	396,826	0
	スーパービジョン講座			93,000	141,500	48,500
	東北女性の仕事物産展事業			2,143,806	2,823,655	389,804
	東日本大震災被災者サポートグループ事業			0	34,160	34,160
合計				2,702,806	3,613,707	690,000
総合計				3,392,806	3,613,707	
収支差引額					△220,901	財団自主負担
次年度繰越金額						0

財団に関する最新情報は、ホームページでご案内しています。→<http://www.ogef.jp>

ogef

検索

編集・発行 一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団 ニュースレター編集部
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 ドーンセンター3F
TEL: 06-6910-8615 FAX: 06-6910-8624
E-mail: info@ogef.jp <http://www.ogef.jp/>

発行日:平成26(2014)年7月15日